

## GIRO GIRO hitoshina 2nd Anniversary @WORLD [世界]



「京都の料理を愛するが故、業界を変える為に僕はフランスへ行く。そして圧倒的な力をつけて帰ってくる」と語ってから1年半、遂にその日は決定した。彼の小割烹は余命1年。「べつにお別れてわけじゃないからね」今宵の主役「枝魯枝魯」の枝園栄一氏はサラリと笑うが、単なる周年イベントを超えた感慨が、今宵の来場者全員にあっただろう。

枝園氏と懇意である御幸町のカフェ「Park」の牧野広志氏などは、ゲストDJでもあり「彼が手の回らないところは手配を手伝ったりしたけど、ギャラなんかもらう気はないしね」というイベントそのものの協力者でもある。実は氏は、本誌11月号でも既報の、20組以上のアーティスト・70店舗にも及ぶ各ショップの招聘したイベント「BIG BBQ」の筆頭裏方、まあ後見人のような人物である。枝園氏の人柄と料理は、この御大をも動かした。他の出演者として事情は同じ、意気を感じて出演を快諾した者も多いという。

今宵主役の料理人は再来年にはもういないが、この度2周年を迎えた「ひとしな」は店主が渡仏しても残る。同時に似た志を持ち、心を許せる同業者も、京都に残る。同店の利用者にとっては、普段はカウンター越しに会話を交わす相手が、今夜ばかりはゼロ射程距離。常連客も、予約が取れずに涙する人も、同店の思い出を目と胸と肝臓に刻み、残された日々は何度彼を訪ねられるかを想い、そして彼の前途に幸多かれと祈った夜である。

A

### 「Mr.小割烹の未来に幸多からんことを！」 料理と人柄に惚れたDJが、常連が祈ること



E



D



F



C



G



B



H

A. ご存じ、小割烹「枝魯枝魯」当主の枝園栄一氏。夜遊び大好き。去年の反省から「今日は潰れません」と固く誓った。彼が休日に仏語を学ぶ姿は真摯そのもの。知られざる感銘のシーンである。B. 「数年ぶりに回したね」と言う「Park」牧野氏と共に。祇園と御幸町から、木屋町を挟んで京都のカルチャーを興すふたりは親友か兄弟か。牧野氏は「まあ一席タダなら御の字」と笑う。C. 本文中の「BIG BBQ」で驚異的な広報をこなした「Park」かなみサン。今日は「単なるお客」で同僚のまゆみ・「まんざら」佐藤・「boogabo」竹ちゃん・元「Lapin」のコーディーと「青空パークカフェメンバー」で馳せ参す。D. ポスターはカンバラクニエ氏描き下ろし。当初、枝園氏は描かれない予定だったが、最終的には「少女がお着で枝園氏をつまんでる」という可愛い一作に。E. 常連は世界規模。「本店ニモット日本酒オイテホシイネー」と日本人より日本酒好き、オランダ人のハンセン夫妻は振舞酒で既にご機嫌。「フランスニモ食ベニ行クヨ」。F. 松井山手の和風創作会席「そや」のスタッフ、タカトシ&カスキも枝園氏にべた惚れの常連客。「器がええのよ、温かい。月に一回以上は行きませ」。G. チアキとマサヤも1回以上、枝園氏に会いに行く。「フランスに行って帰ってきたらどないなってるか、楽しみなんや」。H. EMMA・牧野広志・キムラコウ・CR&SUN (近藤進太郎)・大井良次・SLEEP WALKER、さらにゲストに輿論のB.BAND……。態を問わず恐ろしく豪華なゲスト陣。MONDO GROSSO・大沢伸一氏に至っては「ギャラを用意したら録を切る！」とまで言ったとか。これも美談である。